

第76号

平成15年5月24日発行

群馬県山岳連盟

〒371-0005 前橋市堀之下町494-2

女屋 等志方

TEL 027-269-4570

山岳ぐんま

編集発行人

群馬岳連編集部 岡安茂能

印刷所 朝日印刷工業(株)

エベレスト初登頂五十年

群馬県山岳連盟常任理事

八木原 園明

昨年の国連が提唱した「国際山岳年」は、残念ながらそれほど盛り上がりは見られなかったようである。

日本山岳協会の力の入れ方がある一つ足りなかった、と反省して

いるが、我々登山者を含めて地球環境、自然の大切さを改めて考えるための「元年」としたい。

そして今年は登山史だけでなく、歴史に残る出来事としての「エベレスト初登頂五十年」目の年でも

ある。

一九五三（昭和二十八）年五月二十九日、イギリス隊のエドモンド・ヒラリー（ニュージーランド）とテンジン・ノルゲイ（インド在住のネパール人）の二人が、世界最高峰の頂上に立った。

世界の屋根と言われるヒマラヤ山脈、その中で最も高い八八四八メートルの超高所、南極・北極に次ぐ「第三の極地」と呼ばれる前

人未踏の聖なる絶頂であった。

因みにパキスタンのカラコルム・ヒマラヤの難峰、ナンガ・パルバット（八一二五メートル）が五十八年の歳月と三十一人の犠牲の後に、西ドイツ・オーストリア合同隊の、あの超人ヘルマン・ブルーが単独登頂したのが同じ年の一九五三年七月三日である。

蛇足であるが、パキスタン政府はナンガ・パルバット登頂五十年を記念して、今年は六五〇〇メートル以下の山は登山料をタダにし、それ以上高い山については半額にするという。

パキスタンにしてみれば「エベレストだけがヒマラヤではないぞ」と言いたいだろうし、一昨年のアメリカの九・一一テロ以来、登山隊が減り、おまけにイラク攻撃があるかも知れないという状況の中で、少しでも来て欲しいからでもある。



エベレスト初登頂から五十年目の今年二〇〇三年二月、日本山岳協会では第四十一回海外登山技術研究会の講師・ゲストスピーカーとして、一九七五年秋にエベレス

ト南西壁の初登攀者である現イギリス山岳会会長のダグ・スコットを招いた。

エベレスト南西壁は日本山岳会が一九六九年秋に試登し、七十年に失敗し、その後も国際隊やクリス・ポニントン隊などが挑んでは失敗し続けていた。

一九七二年秋に次いで再挑戦であるポニントン率いるイギリス隊は、八〇〇メートルを越す高所にある大岩壁・ロックバンドの攻略を、それまでの右ルートではなく、左手のガリーに向け、ロックバンドの唯一の弱点を突き、エローバンド下へ入る緩傾斜バンド、ランペを抜けて、ドウガル・ハストンとダグ・スコットがついに南西壁を陥落させた。

BCから頂上までの登山期間は三十三日間という、これまでのエベレスト登山の最短記録ともなる。第一次世界大戦前からエベレスト初登頂を目指し、あれほどの隊を送り出したイギリスにとって、「初めてのイギリス人によるエベレスト登頂」ともなった登山であった。この南西壁の『冬期初登攀』を、たった十八日間で成功させるのが、

一九九三、四年冬期の我が群馬県山岳連盟隊である。

八王子の海外登山研究会の二日目の朝、私はダグと二人で朝食をとりながら雑談していた。

ダグは「登頂記念日である本年五月二十九日には、ロンドンで記念式典が開かれるが、式典にはエリザベス女王も出席する」と言っていた。

私が「ヒラリーも来るのか」と聞くと、「ヒラリーは六月にロンドンへ来る。その時にディナー・パーティーを催し、その収益金をヒラリーのネパールプロジェクトへ寄付をする」とも言っていた。

エベレスト初登頂時の有名なエピソードの一つであるが、「登頂から四日後の六月二日がエリザベス女王の戴冠式」であったが、ちょうどその日に「エベレスト初登頂成功」のニュースが全世界に流れ、戴冠式にもう一つ花が添えられたということであった。

つまり、今年はイギリスのエリザベス現女王の戴冠式五十周年の年にもあたるのである。

国際山岳年記念事業 第18回群馬県民の日事業

第25回県民登山大会

群馬県高体連登山専門部委員長 小林 達也

第二十五回県民登山大会が、十月二十七日（日）、子持山・小野子山を会場に行われ、今回は高体連登山部が担当した。

寒冷前線の通過に伴う前日の夜半過ぎからの雨は、ひとしきり雨足を強め気を探ませてくれたが、当日の朝、日が昇るにつれて青空

が広がり、肌寒さを感じるもののみならずの登山日和に恵まれた。北毛青年の家のグラウンドで開会式を行った後、参加者約一八〇名は各コースに分かれて登山行動に移った。

用意した四コースは春の県高校総体において実際に使用するコースで、ガイドブックや市販の地図などに記載されておらず、参加者には大変好評であった。特にAコース（浅間山・子持山）への参加者が多く、用意したマイクロバス一台では事足りず、高崎山岳会がチャーターしたバスに輸送をお願いし、どうにか対応することができた。

どのコースもほぼ予定した時間で進行し、早いコースで午後一時頃には北毛青年の家に帰着し、女子高校生達が用意してくれた豚汁を賞味していただいたが、「美味しい」と、こちらも好評であった。午後三時には最後のCコースも全員無事帰還し、午後三時半、大会を終了することができた。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



本県が生んだ登山家、山田昇、三枝照雄両氏の業績を後世に伝え、登山の基礎である体力を競い合っ
て、登山の普及や発展を推し進め
ようとする、第十三回山田昇記念
杯登山競争大会が、平成十四年十
月六日（日）、わが群馬岳連と川場
村との主催によって、武尊山（二



国際山岳年記念事業
第十三回山田昇記念杯
登山競争大会
六連覇達成 鏑木 毅選手

一五八メートル）において開催さ
れた。折りしも国連総会で決議さ
れた「国際山岳年」に当たり、山
の自然環境と山岳地域で生活する
人々の文化を守ろうと呼びかけて
展開される、記念事業の一環とし
て開催された。大会には、山田杯
七十九名、三枝賞六十二名、一般
参加五十名、計百九十一名が参加
した。

この記念すべき大会に勝利した
のは、鏑木 毅選手（群馬県庁）。
六年連続優勝の快挙を成し遂げた。
山田杯女子の部は、昨年に引き続
き、斉藤きく代選手（前橋・M i
n x）が連勝。三枝賞では、新潟
県十日町高校勢が上位をおさえる
中で、2位高橋昭彦選手（前橋高）、
4位日部貴博選手（高崎高）が健
闘した。

大会運営の効率化や、長引く不
況下にあつて経費節減を図る努力
が払われ、山田杯・三枝賞共に一
斉スタートとし、また、前夜祭か
ら懇親会へと切り替えられた。本
大会も、山田家、三枝家、そして
川場村の皆さん、並びに多くの協
賛事業所からご支援をいただいた。

第13回 山田昇杯成績 (02.10.6)

第13回 三枝照雄賞成績

1	鏑木 毅	群馬県庁	2° 05′ 56″
2	松本 大	群馬大	2° 10′ 32″
3	林 幸男	太工山岳部OB	2° 18′ 32″
4	白澤 将人	山梨県一宮町	2° 21′ 01″
5	齋藤 亨	栃木・独走快汗	2° 25′ 11″
6	渡辺 幸一	碓氷郡松井田町	2° 29′ 53″
7	山田 豊	沼田山岳会	2° 38′ 33″
8	松本 大	藤岡ホスピタル	2° 45′ 21″
9	登丸 剛	リフレッシュ21	2° 45′ 34″
10	佐藤 昭則	十日町地域消防署	2° 49′ 49″
11	大谷 俊行	大泉町役場	2° 54′ 49″
12	児玉 雅之	太田山岳会	2° 57′ 40″
13	廣岡創太郎	日大サイクリング部	3° 01′ 37″
14	石井 和徳	藤岡総合外来	3° 01′ 42″
15	廣瀬 昭憲	県立高崎工業高校	3° 03′ 08″
16	深谷 明	太田山岳会	3° 04′ 56″
17	斉藤きく代	M i n x	3° 08′ 27″
18	若井 栄一	十日町地域消防署	3° 10′ 04″
19	船橋 緑	埼玉県さいたま市	3° 12′ 46″
20	大野 真也	県立大泉高校	3° 13′ 16″

1	柳 和宏	新潟県十日町高校	2° 20′ 47″
2	高橋 昭彦	県立前橋高校	2° 30′ 22″
3	若井 一樹	新潟県十日町高校	2° 33′ 15″
4	日部 貴博	県立高崎高校	2° 33′ 39″
5	太平 陽	新潟県十日町高校	2° 36′ 06″
6	斉藤 裕文	新潟県十日町高校	2° 39′ 21″
7	宮澤 年樹	新潟県十日町高校	2° 45′ 24″
8	飯塚 裕喜	新潟県十日町高校	2° 46′ 50″
9	小林 美久	新潟県十日町高校	2° 47′ 14″
10	柳 尚宏	新潟県十日町高校	2° 49′ 13″
11	野上 輝樹	新潟県十日町高校	2° 53′ 43″
12	水野 美咲	新潟県十日町高校	2° 55′ 53″
13	丸山 剛志	県立高崎工業高校	2° 57′ 59″
14	沢田 哲治	県立安中実業高校	3° 25′ 46″
15	瀬下 恵介	県立高崎工業高校	3° 27′ 44″
16	小山 宗之	新潟県十日町高校	3° 34′ 20″
17	吉井 崇人	新島学園高校	3° 42′ 27″
18	柴山 大寿	県立高崎高校	3° 47′ 10″
19	松田 智也	新島学園高校	3° 48′ 52″
20	藺田 佳子	県立沼田女子高校	3° 50′ 52″

（表中の° ' " は、時間・分・秒を表す）

群馬県山岳連盟副会長 羽野順一氏
勲五等双光旭日章受賞

羽野順一氏（境町山の会）は、多年に亘り群馬県臨床衛生検査技師会副会長として、また、鶴谷病院検査技師長として保健衛生の振興発展に尽力された功績により、秋の叙勲において栄えある勲五等双光旭日章を受賞された。この栄

群馬県体育協会長表彰

太田忠行氏に功労者賞
鏑木毅氏、並びに、国体少年男子三君に優秀選手賞

太田忠行氏（群馬独峰会）は、長年に亘り群馬県山岳連盟常任理事をつとめ、本県の山岳競技選手、登山指導員、遭難救助隊員の指導、養成にあたられ、また、日本山岳協会国体常任委員としても活躍されている。特に昭和五十八年本県で開催された「あかぎ国体」では、副審判長兼競技部長として大会運営の中軸となって尽力され、山岳競技会を成功裡に導いた。

鏑木 毅氏は、平成十四年七月二十六日、第五十五回富士登山競走大会山頂コースで優勝。十月六

誉をたたえるため、平成十五年二月十五日、群馬県山岳連盟と境町山の会が主催して叙勲受賞記念祝賀会が伊勢崎市にて開催され、七十名を越える山の仲間たちから祝福を受けた。

日には、第十三回山田昇記念杯登山競争大会で優勝し、六連覇を達成。平成十五年二月十六日には、都岳連主催第2回コメットカップに二年連続優勝を果たすなど、山岳競技大会においてめざましい活躍を続けている。

「よさこい高知国体」山岳競技会において、少年男子の高橋昭彦、日部貴博、堀込 悟の三君は、種別総合七位（縦走六位、クライミング八位）と活躍した。

表彰式は、二月二十七日、群馬県総合スポーツセンターぐんま武

道館で行われた。尚、鏑木 毅氏は、第二十八回上毛スポーツ賞を

国際山岳年記念事業
谷川岳清掃登山開催される

「国際山岳年2002」は、山々と山麓住民の文化を守ろうと、一九九八年秋、国連総会で決議されたものであるが、わが国においては二〇〇一年秋、日本委員会が発足し、地理・森林・民俗学などの学術界と日本山岳協会を始めとする登山界とで、山々の明日を考えると諸事業を進めることになった。平成十四年九月十五日、群馬岳連は会員が四季を通じて親しんでいる谷川岳周辺で清掃登山を行



受賞、平成十四年十二月十日、上毛新聞社上毛ホールにおいて表彰

された。

趣旨に沿って、開催されたものである。当日は西黒沢と、旧道から芝倉沢を中心に清掃活動が行なわれ、会員の家族や一般市民も加わって参加者百九十六人を数えた。

平成十四年度冬山合宿について

群馬県山岳連盟の十四年度の冬山合宿は、七山岳会十一パーティが計画し、左記の合宿が実施された。

群馬県山岳連盟の十四年度の冬山合宿は、七山岳会十一パーティが計画し、左記の合宿が実施された。

太田山岳会（CL町田、長山、深谷、村田、児玉、小杉）剣岳小窓尾根。太田山岳会（CL吉田、飯塚、加藤）南アルプス聖、上河内、茶臼岳。太田山岳会（CL鹿山、金子）槍平。前橋山岳会（CL角田、伊藤、茂木、内藤、松田、水野）明神岳南西尾根、前穂高岳。前橋山岳会（CL柴田、桜井、大家）西穂高岳。桐生山岳会（CL吉田、文江、須永、樋口、増田）明神岳南西尾根、前穂高岳。境町山の会（CL剣持、

篠原、小暮、石田、星野、藤倉）八ヶ岳、赤岳。沼田山岳会（CL坂井、真下、柳沢、星野、長田、桜沢、見城、宇田川、高橋、原田）谷川岳。群馬登高会（CL堀越、佐藤、稲塚）谷川岳。大間々山岳会（CL福田、前原）奥日光、錫ヶ岳。大間々山岳会（CL阿部、悦子）槍ヶ岳。

今年の冬山合宿は天候に恵まれ、ほとんどの会が計画通りの行動をしているが、一部参加メンバーの減少等で計画半ばで引き返した会もあった。

近年、冬山合宿計画する山岳会の減少で寂しい限りだが、来年こそは充実した合宿を期待したい。

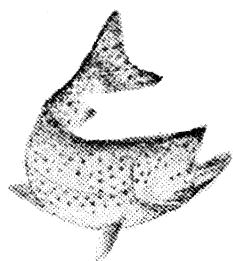


味の店 ドライバーレストラン

一本松さかい

利根郡白沢村（国道120号線） TEL.0278-53-2053

片品川国際マス釣場



星 野 水 産

〒378-0013 沼田市新町230-1

TEL 0278-24-1398

味のりんご

アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802

Annapurna

墓 石 ・ 灯 籠 専 門 店



高 橋 石 井

高崎市石原町1497 TEL (027) 323-8867
工場・高崎市八幡町1245-67 TEL (027) 343-0270

群馬むすびの会会員

電話、弱电工事

プ モ リ 電 設

〒379-2223

佐波郡東村東小保方252

☎ 0270-62-2012



(有) 山とスキーの店 石 井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町1819-1

TEL 0270-21-8025

FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)

伊勢崎市中心町18-8

TEL 0270-25-0272

T. H. I. CORPORATION

TEL:03(5245)0511
FAX:03(5245)0510
(株) ティ・エッチ・アイ

登山隊遠征

- ガモフバッグ、パルスオキシメーターのレンタル、販売
- 隊荷輸送
- 隊荷梱包用資材

個人手配からフルパッケージ・ツアーまで海外旅行に関するすべてをお手伝いします

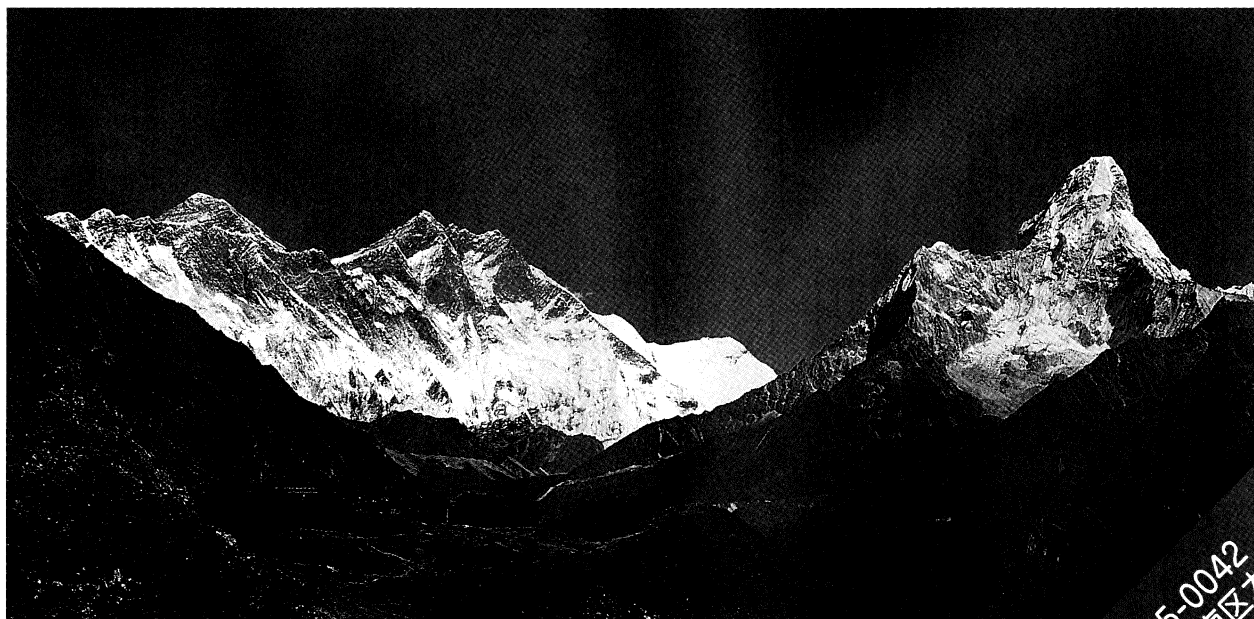
ディスカウント航空券

- 世界各地への航空券
- ホテル、交通機関の手配
- ビザ取得代行

トレッキング

- ネパール、インド、ヨーロッパ・アルプスを始め世界各地でのトレッキング、海外登山

何でもお気軽にご相談ください



T. H. I. CORPORATION

〒135-0042
東京都江東区木場
2-5-7
KHビル7F



萬屋建設グループ

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



総合建設業 萬屋建設株式会社

会 長 星 野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371
 ■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定 (公認)

株式会社 沼田自動車教習所

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

昭和シェル石油特約店 有限会社 丸萬石油

群馬県沼田市上原町1756
 TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

日本工業規格表示許可工場 建設生コン株式会社

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111
 大楊工場 利根郡利根村大字大楊187 TEL 0278-56-3682

総合建設業 株式会社 鈴木工業所

群馬県沼田市上久屋1162-5
 TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

マンション 萬栄ビル株式会社

東京都豊島区東池袋4-2-7
 TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964